

クラス番号	905	担当教員名	永井 健
テーマ	児童福祉施設に措置入所している子どもの姿に触れ、家族支援の在り方を考える。 学童保育を通し、放課後の子どもたちの生活を考える。		

## ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

前期は子どもを取り巻く社会情勢を学びつつ、各自またはグループの研究テーマを見つける。

後期は各自またはグループの研究テーマに沿って調査研究活動を行い、11月頃から研究成果の発表会をゼミ内で行う。

担当教員は児童養護施設での職歴があり、現在も情緒障害児短期治療施設で働いていることからそれなりの助言ができると思う。

学童保育に関しては指導員経験もあり、現在も連絡協議会役員として「制度化」の必要性を訴えている立場でもあり、学童保育の果たす役割や指導員として働くための基礎知識等の学びを進めていきたい。

また、施設入所となった子の家族が、少なからず貧困や孤立などの課題を抱えている現実があるが、どのような支援をしていくことで子どもが安心して暮らせる家族を応援し、維持していくことができるのかについても学生の皆さんと考え合えたらいいと思う。

授業計画：

(前期)

- ・新聞や専門誌から子どもを取り巻く情勢について学ぶ。
- ・全国児童養護問題研究会第45回全国大会（大阪大会）への参加、第51回全国学童保育研究集会（愛知大会）等に参加し、最前線の情勢と課題、支援について学ぶことを勧めたい。

(後期)

- ・施設養護の現状と課題～家庭的養護推進計画。
- ・学童保育の現状と課題。
- ・子どもと向き合う工夫について学ぶ。（安全パートナーリング）
- ・家族応援の在り方について学ぶ。

## 担当教員からのメッセージ



乳児院、児童養護施設等の社会的養護施設で働きたい学生歓迎。

学童保育に関心があり、指導員を目指す学生歓迎。

児童福祉を学びたい学生歓迎。